

2000年度 日本線虫学会 第8回大会プログラム

9月13日(水)

13:00~14:00 [総会]

14:10~17:40 [一般講演]

(座長 石橋信義)

14:10 101

近藤栄造・平佐友美・吉賀豊司(佐賀大農): 有明海の干満に伴う汽水線虫の移動.

14:25 102

カマルエルナブリス・大嶋雄治・本城凡夫(九大院農院)・白山義久(京大院): 海産線虫の生活史とその成長に及ぼす塩分と温度の影響.

14:40 103

荒城雅昭・Z. Khan(農環研): 不耕起・堆肥連用圃場の土壌線虫の多様性(第2報)—検出された線虫属と多様性示数の試算—.

14:55 104

KHAN, Z. and M. Araki(Natl Inst. Agro-environ. Sci.): Two new and two first reported species of predatory nematodes (Mononchida) from Ibaraki, Japan.

(座長 前原紀敏)

15:10 105

吉賀豊司・石川裕士・近藤栄造(佐賀大農): ベニツチカメムシから分離された線虫について.

15:25 106

津田 格・神崎菜摘・二井一禎(京大院農): *Iotonchium* 属線虫の系統解析.

15:40 107

秋庭満輝・石原 誠・佐橋憲生(森林総研): マツノザイセンチュウの2種類のアイソレイトのクロマツ樹体内での共存.

15:55 108

二井一禎(京大院農)・丹原久美子(近畿大農): マツカルスを用いたマツノザイセンチュウと寄主組織の親和性の研究.

(座長: 小坂 肇)

16:10 109

神崎菜摘・二井一禎(京大農): キボシカミキリ各亜種が保持するクワノザイセンチュウ(仮称).

16:25 110

真宮靖治(玉川大農): マツノザイセンチュウのマツノマダラカミキリからの離脱経過—組織解剖学的観察.

16:40 111

前原紀敏(森林総研)・池上真木彦(京大院理)・二井一禎(京大院農): マツノマダラカミキリによるマツ属4樹種へのマツノザイセンチュウの伝播.

(座長: 山中 聡)

16:55 112

BILGRAMI, A. L., E. Kondo and T. Yoshiga (Dept. Appl. Biol. Sci., Saga Univ.): Numerical analysis of the host searching and attraction mechanisms of *Steinernema glaseri* using *Galleria mellonella* as its host.

17:10 113

BALIADI, Y., E. Kondo and T. Yoshiga (Dept. Appl. Biol. Sci., Saga Univ.): Endotokia matricidiana axenic steinernematid and heterorhabditid nematodes.

17:25 114

吉田睦浩(農環研): 日本産昆虫病原性線虫(*Heterorhabditis* 属および *Steinernema* 属)のニセタマナヤガ(*Peridroma saucia*)幼虫に対する殺虫活性について.

17:45~20:00[懇親会]

9月14日(木)

9:00 ~ 12:00[シンポジウム]

「線虫研究における分子生物学的研究手法の利用と展望」

(座長 水久保隆之)

9:00 挨拶 真宮靖治(日本線虫学会会長、玉川大農)

9:10 S1 刑部正博(農研センター)

ダニ研究における遺伝子分析技術利用の現状.

9:45 S2 大類幸夫(葉たばこ研):

PCR法による主要な有害線虫の簡易同定法.

10:20 ~ 10:30 休憩

10:30 S3 岩堀英晶(九州農試)・神崎菜摘・二井一禎(京大院農):

分子系統解析から探るマツノザイセンチュウの地理分布と種分化.

11:05 S4 植原健人(北海道農試):

線虫抵抗性遺伝子—最近の研究動向—.

11:40 総合討論

13:00 ~ 16:55[一般講演]

(座長 荒城雅昭)

13:00 201

鳥越博明(鹿児島農試大島支場)・森田重則(鹿児島農試徳之島支場):奄美群島のサトウキビ栽培地帯で検出される植物寄生性線虫.

13:15 202

奈良部 孝(北海道農試):北海道に侵入した暖地型ネコブセンチュウの同定と生理的特性.

13:30 203

佐野善一・岩堀英晶(九州農試):サツマイモの線虫抵抗性に基づくサツマイモネコブセンチュウのレース判別.

(座長:佐野善一)

13:45 204

伊藤賢治・水久保隆之(農研センター)・渡邊貴由(片倉チッカリン):ゴボウ壊死斑によるキタネグサレセンチュウ圃場密度の推定.

14:00 205

百田洋二(北海道農試):タバコシストセンチュウのナス科寄主について.

14:15 206

相場 聡・杉本光穂(農研センター):不耕起栽培がダイズシストセンチュウ密度に及ぼす影響.

(休憩 14:30 ~ 14:40)

(座長:相場 聡)

14:40 207

串田篤彦・植原健人・百田洋二(北海道農試):ジャガイモシストセンチュウに対する天敵糸状菌(BCF)の接種効果.

14:55 208

福澤晃夫・佐藤 敦・渡辺織絵・笠原建二・成瀬大洋・西村弘行(道東海大工)・山田栄一(雪印種苗):トマト根浸出物のジャガイモシストセンチュウに対する孵化阻害活性と性質.

15:10 209

諸見里善一(琉球大農)・古我知 信((株)青い海)・田場 聡(沖縄農試):有機物施用によるネコブセンチュウの減少とそのメカニズム.

(座長:近藤栄造)

15:25 210

TALAVERA, M. and T. Mizukubo (Nat. Agric. Res. Center) : Influence of soil conditions, storage and nematode age on *Pasteuria penetrans* attachment to *Meloidogyne incognita*.

15:40 211

下元満喜(高知農技セ)・佐野善一(九州農試) : *Pasteuria penetrans* のサツマイモネコブセンチュウへの付着効率におよぼす土性・土壌水分の影響.

15:55 212

水久保隆之・タラベラ・ミゲル(農研センター) : 熱水消毒とパスツールリア菌の併用によるサツマイモネコブセンチュウ密度抑制効果 : 線虫密度層別調節土壌模擬試験.

(座長: 川田弘志)

16:10 213

三平東作(千葉暖地園試) : 天敵出芽細菌を用いたイチジクのサツマイモネコブセンチュウ防除.

16:25 214

立石 靖(九州農試) : 連・輪作および *Pasteuria penetrans* によるサツマイモのネコブセンチュウ害抑制 VII. *P. penetrans* 施用後7作目の効果.

16:40 215

石橋信義・大坪亮介(佐賀大農) : 菌食性線虫 *Aphelenchus avenae* の長期保存.